

令和3年度 第2回 蒲郡市民病院特定認定再生医療等委員会

開催日時：令和3年7月29日（木曜日） 15時00分～17時00分

開催場所：蒲郡市民病院ほか（TV会議方式で開催）

出席者：各務副委員長、畠副委員長、本田委員、大串委員、室原委員、久保委員、飛田委員、紀ノ岡委員、伊藤委員、森委員、杉島委員、佐藤委員、八代委員、神谷委員、松木委員、杉森委員、金子委員

欠席者：城委員長、神田委員、鳥山委員

（報告）

1【定期報告】

管理No.	16-05ⅡB
再生医療等提供機関	名古屋市立大学病院
再生医療等提供機関管理者	病院長 間瀬 光人
再生医療等の名称	『白斑、改善が困難な瘢痕、難治性皮膚潰瘍に対する培養表皮移植の有効性の検討』（第二種）【研究】
議決不参加	畠副委員長、久保委員、森委員、松木委員、神谷委員 欠席：城委員長、神田委員、鳥山委員
技術専門員	秋田大学大学院医学系研究科 皮膚科・形成外科 教授 河野 通浩（対象疾患）

- 提出された報告に対し、議決に参加した12名が安全性・妥当性について現時点では問題は無いとし、再生医療等の提供の継続については【適】とした。

（報告）

2【定期報告】

管理No.	16-01ⅢA
再生医療等提供機関	名古屋市立大学病院
再生医療等提供機関管理者	病院長 間瀬 光人
再生医療等の名称	『多血小板フィブリン(PRF:Platelet Rich Fibrin)を用いた歯槽骨造成』（第三種）【治療】
議決不参加	神谷委員 欠席：城委員長、神田委員、鳥山委員
技術専門委員	順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター 准教授 飛田 護邦（対象疾患）

●議決に参加した16名が定期報告について特に問題は無いとし、再生医療等の継続については【適】とされたが以下の要望が出された。

- ・報告内容から安全性に問題は無いと考えるが、一定の症例数が蓄積されたことから本治療の妥当性をどの様に評価するのか改めて検討いただくことを要望する。

(報告)

3【疾病報告】

管理No.	18-02 II B
再生医療等提供機関	順天堂大学医学部附属順天堂医院
再生医療等提供機関管理者	病院長 高橋 和久
再生医療等の名称	『自己脂肪幹細胞及び多血小板血漿を用いた歯周組織再生医療技術の妥当性及び提供方法の検討』 (第二種)【研究】
議決不参加	梶副委員長、本田委員、飛田委員、紀ノ岡委員、森委員、松木委員 欠席：城委員長、神田委員、鳥山委員
説明者	順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター 先任准教授 飛田 護邦
技術専門委員	松本歯科大学 総合歯科医学研究所 教授 各務 秀明 (対象疾患) 名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター 教授 神谷 武 (生物統計)

●申請者が疾病報告の内容説明を行い、質疑応答がなされた。議決に参加した11名が当該再生医療等との因果関係が疑われる事象ではないとし、研究の継続実施については【適】とした。

(報告)

3【疾病報告】

管理No.	18-03 II B
再生医療等提供機関	佐賀大学医学部附属病院
再生医療等提供機関管理者	病院長 山下 秀一
再生医療等の名称	『スキヤフォールドフリー自家細胞製人工血管を用いたバスキュラーアクセスの再建』 (第二種)【研究】
議決不参加	梶副委員長、森委員、松木委員 欠席：城委員長、神田委員、鳥山委員
説明者	佐賀大学医学部附属病院 心臓血管外科 助教授 伊藤 学
オブザーバー等	佐賀大学医学部臓器再生医工学講座 教授 中山 功一 株式会社サイフューズ 松林 久美香、大島 恵美

技術専門委員	名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 室原 豊明（対象疾患） 名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター 教授 神谷 武（生物統計）
--------	--

- 申請者が疾病報告の内容説明を行い、質疑応答がなされた。議決に参加した14名が、今回の報告に対し委員会から出された意見に対応した資料等を委員会へ提出し、再度審議する【継続審査】とした。